

センター通信

生徒一人ひとりを中心とした学校を



伊丹市立北中学校

教頭 長谷 慎一

北中学校では、学校教育目標である「豊かな心と考える力を育み、よりよい未来を切り拓く」の実現をめざしています。そのため、子どもたちの「豊かな心」と「考える力」を育むべく、研究を軸としながら、教職員一丸となって授業改善や学校行事等に取り組んでいます。

一方で、教職員間で指導内容や関係機関との連携、子どもの置かれている背景などについて協議・共有し、子どもたちの健全な育成に資するため、生徒指導部会を定期的に行っています。また、人間関係や学習への不安を抱えながらも、周囲に相談できない生徒も少なくありません。そのため、登校しづらさを感じる生徒も増加傾向にある中、一人ひとりの状況を丁寧に共有し、支援の在り方を検討する教育相談部会も実施しています。さらに、特別支援教育推進委員会では、生徒の困りごとを共有し、誰もが安心して学校生活を送ることができるよう、具体的な支援策について検討しています。

これら三つの会議に出席する中で気づいたことは、多くの生徒の名前が複数の場で挙がっているという事実です。つまり、問題行動の背景には、本人の中に解消しきれない「悩み」や「困り感」があるということです。集団生活への適応の難しさ、コミュニケーションの課題、こだわりの強さや感情のコントロールの難しさなど要因はさまざまですが、共通して言えるのは、どの生徒も「困っている」ということです。困っている生徒を少しでも助けるために生徒指導部会では行動への指導を、教育相談部会では心のケアを、特別支援教育推進委員会では具体的な支援策を検討しています。このように多角的な視点で一人の生徒を捉え、観察・分析することで、有効な手立てが見えてくることを実感しています。

今、目の前の生徒たちに必要なのは、個に応じたきめ細やかな指導、丁寧なカウンセリング、そして具体的な支援のいずれも欠かさないことです。その根底にあるのは、「生徒理解」にほかなりません。「してはいけないことは、してはいけない」と伝えることは大切です。しかし同時に、その行動の背景に思いを巡らせ、同じトラブルを未然に防ぐための手立てを講じる視点も求められます。一人に対応するには限界がありますが、チーム学校として役割分担しながら取り組むことで、より丁寧で効果的な支援が可能になります。

子どもたちに関わる私たち大人にとって最も重要なことは、一人ひとりの生徒に丁寧に向き合い、さまざまな場で情報を共有しながら協議を重ね、対応していくことであると強く感じています。今後も、生徒一人ひとりを中心に据えた教育の実現に向け、教職員が連携し、組織として協働しながら取り組んでいくことが重要であると考えています。

第1回 愛護補導連絡会（全体会）

6月12日（金）、伊丹市立総合教育センターにて第1回愛護補導連絡会(全体会)を行いました。

愛護補導連絡会は、少年補導委員、PTA愛護部と関係機関（阪神北少年サポートセンター、伊丹警察署、主任児童委員等）が情報交換を行うことで連携することを目的としています。「地域の子どもは地域が守り育てる」という観点に立ち、地域の総力を結集して、「愛の一声運動」や補導活動等を推進しています。

全体で情報交換後、小学校区毎に分かれ、PTA主催で行われる全市一斉愛護パトロールのコースを話し合い、巡回時の重点箇所や留意事項について確認をしました。また、ブロック別に行われる第2回愛護補導連絡会の日時や内容についても検討されました。

SNS上で急速に広がりを見せている — 若年層に忍び寄る違法・依存の罠 —

マンジャロ インスリンの分泌を促し、血糖値を下げる効果があり、2型糖尿病の人にとって画期的な薬として日本では2022年に承認されました。個人売買については違法ですが、SNS上で「打ったら痩せられる」などの投稿が広がり、保険適用外で処方してもらえることも相まって「やせ薬」として使う人が急増しています。「体重減少、倦怠感やだるさ、下痢や便秘、低血糖の症状、膵炎、胆石や胆嚢炎」などの重い副作用が出ることもあります。また、保険適用外での処方、重い副作用が出ても公的な救済制度の対象外というリスクも伴います。

ニコパフ 使い捨て型電子タバコと呼ばれるもののうち、特にニコチンを含有しているタバコを指します。手軽さやコスパの良さから若年層に普及していますが、国内での販売・譲渡は厳格に禁止されています。日本国内ではニコチン入りの電子タバコは「医薬品」です。つまり、厚生労働省の承認がない限り、店舗やネットでの販売、知人への譲渡も禁止されています。ニコパフに含まれるニコチンは心拍数の増加や血圧上昇を招くだけでなく、脳の発達段階にある青少年にとって、学習能力や記憶力の低下を招くリスクが指摘されています。



相談件数	
電話相談	1 件
来所相談	3 件
メール相談	0 件

6月補導活動 — 暫定値 —	幼児 小学生	中学生	高校生 その他	大人
あいさつ	1 9 6 8	1 8 9	7 0	3 9 9
声かけ/会話等	3 4 8	7 9	8 5	1 8 5
(内)				
遊びに関して	6	2	6	0
問題				
交通に関して	1 6	8	2 6	4 1
行動				
その他	1 2	2	0	1

ひょうご防犯ネット情報（6/1～6/30 掲載分）

日	時刻	場 所	事 案	概 要
— 行為者確保・警告等があったものには☆印 —				
3	14:40	西野3	暴行事件	徒歩で通行中の男子小学生に対して、男がランドセルの持ち手をつかんで引っ張る暴行を加えた。 ☆ 6/16 行為者が特定され、警告された。
5	15:30	北本町1	声かけ事案	男女4人組の一人が、徒歩で下校中の女子児童に対して、「遊ぼうよ」と声をかけた。
7	23:55	荒牧南4	つきまとい	徒歩で通行中の女子大学生に対して、男が無言で約100mつきまとった。
11	15:40	伊丹4	声かけ事案	徒歩で通行中の女子児童に対して、男が「お嬢ちゃんは何年生？」と声をかけた。
18	8:05	南町2	不審者情報	徒歩で通行中の男子小学生に対して、男が「お菓子いる」と声をかけた。 ☆ 6/24 そのような事実がないことが判明した。
18	17:15	南町1	不審者情報	徒歩で移動中の成人女性に対して、男が笑みを浮かべながら無言で、殴る素振りをした。
20	11:40	東有岡2	露出事件	徒歩で通行中の成人女性が、下半身を露出した男を目撃した。
23	11:15	船原1	声かけ事案	徒歩で通行中の成人女性に対して、男が「かわいいね。今からどこへ行くの？一緒に手をつないで歩こう」などと声をかけた上、成人女性の両腕を触るなどした。
29	19:00	平松7	露出事件	徒歩で通行中の成人女性が、下半身を露出した男を目撃した。

< 7月の予定 >

3(金)	伊丹市青少年を守る店連絡協議会 総会・量販店部会研修会	22(水)	第1回 少年愛護センター 運営協議会
7(火)	伊丹市少年補導委員連合会 役員会	24(金)	県青少年補導センター 所長 一日研修会
7(火)	伊丹市少年補導委員連合会 定例理事会	24(金)	宝塚市・伊丹市少年補導委員合同補導 イオン伊丹(南・稲野・有岡)
10(金)	広報啓発活動(有岡・瑞穂)	(随時)	街頭補導活動 (各小学校区) 中学校区内補導活動 (各中学校区) 電話・来所・メール相談 (愛護センター)
「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(TEL072-780-3540)までお寄せください。			